

令和6年度 児童発達支援事業者における自己評価結果(公表)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題・改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・活動に集中できる環境を工夫しています。 ・活動内容に応じて個室も使用しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法令で必要とされる配置数に加え、保育士、児童指導員を1名以上配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・朝の活動や給食などその場の活動や動作について、絵カードを示し、わかりやすさを大切にしています。 ・大きな段差はなく、車椅子やバギーでも室内を移動できます。 ・室内については、来年度一部修繕を予定しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・お子さんが通所するまでに環境を整え、朝から気持ちを切り替えて活動できるよう配慮しています。 ・お子さんが帰った後、毎日清掃、その日使用した玩具、ドアノブや床などの共有スペースの消毒を行い、除菌・ウイルス除去の徹底を行っています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別対応できる部屋があります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・毎日の職員ミーティング、毎月の支援会議の中で業務についての振り返りを行い、よりよい支援につなげられるようにしています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者向け評価表を実施し集計しました。それを元に業務改善につなげています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・会議、日常のミーティング等で職員の意見等を把握し、業務改善につなげられるようにしています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・現在は行っていないですが、今後必要に応じて検討していきます。
	10	職員の資質の向上を行うために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・法人内研修、外部研修ともに、必要と思われる研修に参加し学びを得ています。
支援の適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		作成し、ホームページに公表しています。

12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○	・その子に応じたアセスメントツールを使用し、お子さんの状態を客観的に把握した上で児童発達支援計画を作成しています。
13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○	・児童発達支援管理責任者だけでなく職員も含めて原案の作成、確認を行い、検討しています。
14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○	・職員間でそれぞれの計画内容を周知し、計画に沿った支援を行っています。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○	・他機関で実施したフォーマルなアセスメントも含め、日々の行動観察等のインフォーマルアセスメントも行い活用しています。
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○	・児童発達支援のガイドラインにある「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容を踏まえ、こどもに必要な目標、支援を設定しています。
17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	○	・基本的な生活スキル、運動、感覚、認知、言語、コミュニケーション、人間関係の形成や社会性についての支援を考慮し、お子さんたちに合った活動プログラムを立案し、ホームページや事業所の入り口に掲載しています。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	○	・お子さんの発達段階に合わせて、定期的に活動プログラムの内容を発展させたり工夫しています。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	・アセスメントに基づき、個別活動と集団活動を組み合わせ、児童発達支援計画を作成しています。
20	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われている支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	・毎朝ミーティングで確認しています。
21	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	・その日の支援内容等を業務日誌に記入、各自確認しています。気になる点、周知すべき点はその日のうちに共有しています。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	・支援内容を記録しています。支援会議等で検証、改善を行っています。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な	○	・定期的に保護者、児童発達支援管理責任者、相談支援専門員、関係機関職員等で話し合いを行い、個

		見直しを行っているか。			別支援計画の見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達支援管理責任者が参加しています。
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・定期的に幼保こども園と連携しています。また必要に応じて母子保健、教育委員会、学校、児童相談所等と情報共有、訪問等の連携をしています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・引き継ぎ書や移行支援の一つとして訪問などにより、そだちでの支援内容の情報共有と相互理解を図っています。インクルージョン推進の観点から、移行が望ましいお子さんに関して保育所等への移行支援を進めています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・引き継ぎ書や移行支援の一つとして訪問などにより、そだちでの支援内容の情報共有と相互理解を図っています。
	28～30は児童発達支援センターのみ				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		・市内に児童発達支援センターが設立されましたので、今後連携、助言等を受ける機会を積極的に設けていきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		・例年、法人内で年に三回、創立記念式典や真夏の夜の集い、大うんどう会を通して交流の場を提供しており、また、法人内の保育園を訪問し交流する機会を設けております。また、法人内の児童養護施設のお子さんが遊んでいることもあり関わって遊ぶこともあります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・毎日お子さんの状況、支援内容について連絡帳に記入し伝えています。また日常的にお子さんの発達状況、課題について送迎時を利用しお伝えしています。
保護者への説明責任等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・ペアレント・トレーニング連続講座を集団・個別で対応しました。また、DVDによる勉強会、講師をお呼びして「特別支援教育・就学相談」勉強会も開催しました。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時、丁寧に説明をしています。支援プログラムは令和7年2月に作成しホームページにて掲載しています。今後も周知予定です。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・実施しています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支	○		・実施しています。

		援計画の同意を得ているか。			
38		定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・定期的に個別的な話し合いを行っています。また、日頃から悩み等の相談に応じています。
39		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・例年、保護者会やパパママ会を実施しております。きょうだいも含めたイベント等の企画について、今後検討していきます。
40		こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・相談や申入れにはすぐ応じるようにしています。
41		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・広報誌、ホームページ、そだちだよりで発信しています。
42		個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報の書面は厳重に保管しています。 ・広報誌・ホームページに載せる場合は承諾を得てから行っています。
43		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・視覚的支援により、お子さんの状態に応じて配慮しています。また、連絡帳記入や、送迎時にお子さんの様子を伝達しています。
44		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・法人で真夏の夜の集いを開催する際に、挨拶や案内を出しています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・それぞれマニュアルを策定し、法人内研修を通しての訓練を実施しています。 ・緊急時の対応等では保護者にも説明し協力をお願いしています。 ・定期的に非常災害発生を想定した避難訓練を実施しています。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・業務継続計画を策定後、年に1回に見直し、周知研修を行い、訓練も実施しています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・契約時、服薬状況やてんかん発作等のお子さんの状況を確認しています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・給食提供が可能な場合はアレルギー検査の結果を提出していただき、医師からの禁食等の情報を管理栄養士と共有、代替食を提供しています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画を作成、見直し、必要な研修、訓練等を行い、安全管理を行っています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連	○		・保護者会のとき説明しています。保護者会に参加で

		携が図れるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。			きない方には個別に説明しています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有しているし、再発防止に向けた方策について検討しているか。	○		・法人の事故防止安全対策委員会でヒヤリハットの事例を取りまとめ、分析して対策を講じています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・法人で虐待防止委員会を設置し、虐待防止についての研修機会を確保しています。 ・法人で職員倫理綱領と職員行動規範の周知徹底や職員虐待セルフチェックリストを随時チェックし、自分の支援の振り返りを行い虐待防止に努めています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・身体拘束について組織的に決定した上で、事前に説明、了解を得、児童発達支援計画書にも記載しています。身体拘束廃止委員会への状況報告も行っています。